

大学評価学会 第54回・第55回研究会の報告

【第54回研究会】

日 時：2018年7月22日（日）午後1時半～5時

場 所：キャンパスプラザ京都6F（龍谷大学サテライト教室）

次 第：1）深野 政之（大阪府立大学）

大学職員の内発性に基づく役割モデルの再構築——科研共同研究の構想

2）近藤真理子（太成学院大学）

通信制高校での学びの機会の現状と大学での「リメディアル」の課題

3）岡山 茂（早稲田大学）

マクロン政権下の教育改革——いまフランスの大学で何が起きているのか

第5回田中昌人記念学会賞の副賞贈呈式（受賞者：光本・村上会員）に引き続いて、第54回研究会が開催されました。第一報告は、深野会員が代表となって採択された科研費共同研究の構想発表でした。第二報告は新入会の近藤会員による報告であり、同じ領域・問題関心の会員もいることから今後の研究の発展が期待されます。第三報告は岡山共同代表による発表で、予定されている留学研修で深めるご予定の問題意識につながる報告でした。

【第55回研究会】

日 時：2018年9月15日（土）午後1時半～5時

場 所：早稲田キャンパス3号館／3-909実習室

次 第：1）中田 晃（公立大学協会／放送大学大学院）

新たな認証評価機関の評価システムについて

2）細川 孝（龍谷大学）

学生の学習権と「大学の自治」

3）西川 治（神奈川総合法律事務所）・戸塚悦朗（元龍谷大学）

渡部昭男（神戸大学）・細川 孝（龍谷大学）

渡部：国際人権規約と教育無償化の理念

西川：奨学金破産～「破産予備軍」把握の試み～

戸塚：奨学金破産と漸進的無償化

～日本弁護士連合会及び各弁護士会の意見書等の分析から～

第55回研究会は、9月修了者への学位授与式が行われている早稲田大学で開催されました。第一報告は、公立大学法人評価に焦点をあてながら新たな認証評価機関の評価システムを探るものでした。第二報告は、ある高等教育機関における人権救済事案を素材に学生の学習権と「大学の自治」について考察したものです。第三報告は、国際人権A規約13条の「教育への権利 Right to Education」の法理から奨学金破産とその救済、さらには漸進的無償化立法への方途を展望するものでした。

（いずれも、参加者は約20名で、終了後は懇親会がありました。）

[文責・渡部]

